

清流

家庭学習を考える

「早く勉強しなさい！」 「宿題は終わったとね？」

このような言葉ほど、子どもたちが聞きたくない言葉はないと思います。私自身も子どもの頃、「宿題しなさい」と言われ、しなくてはいけないと思っていた時にいつも言われるので、「今、しようと思っただのに！」と言い争いになってしまうことがよくありました。

甲佐小学校では、当然のことながら「確かな学力の育成」を教育活動の三つの大きな柱の一つに位置づけています。今年度は、その中でも特に「家庭学習の充実」を重点的な取組としています。「家庭学習の充実」とは具体的にどんなことだと思われませんか？
実は私は以下のように考えているのです。

「家庭学習」 = 「宿題」 ではない

私がここで言う「家庭学習」に、宿題は当然含まれていますが、それ以外に主体的な学習が含まれているのです。そして、その学習をとっても大切に考えているのです。学校では「自主学習(自学)」と呼ぶことが多い学習です。

もちろん、低学年(1、2年)の子どもたちにはまだ難しいことなので、低学年の子どもたちは、毎日しっかりと宿題に取り組み、家庭で学習する習慣を身に付けることが大切です。そのことは、その時点で学力定着とともに3年生以上での自主学習につながると考えています。

そして、自主学習の充実のため4年生以上で取り組んでいるのが「レインボーチャレンジ」です。3年生は、レインボーチャレンジは行っていませんが、宿題に自主学習が加えられています。レインボーチャレンジは、決められた宿題がきちんとできることを基準にして、自主学習の量や質に応じてその内容を7段階で評価する仕組みです。白旗小学校の取組を手本に本年度から導入した仕組みです。この取組により、「やらされる学習」を少しでも「自分のために主体的に取り組む学習」に変えたいと考えているのです。子ども一人一人に個性や実態がありますし、主体的な学習をどれも同じように画一的な評価をしたのでは次への意欲は湧きません。そのような部分を、細かな段階を設定し、しっかりと評価することでカバーし、それぞれが次への意欲をもてるようにと考えているのです。

要するに「家庭学習の充実」とは、「宿題」を確実にやることに加え「自主学習」の充実も目指していくことなのです。参考までに、取り組み時間や内容等については、年度当初に配付した「甲佐小学校家庭学習の手引き」に示されています。また、「家庭学習をがんばろう」ということについては、先日の学校集会で直接子どもたちにも話をしました。さらに加えると、先日の町P連研修会において、甲佐小PTAとしても家庭学習の推進に取り組む、「毎月10日は家庭学習の日」とすることが発表されました。

これらの状況をご理解いただき、ご家庭でも子どもたちに励ましの声を掛けていただければと思います。

レインボーチャレンジについては、宿題さえも全員提出が揃わないという状況はありつつ、それができてから自主学習を充実させようとしたらいつまでたっても始められない、という現実がある中でスタートしました。ですから、1人でも2人でもいいので、主体的に学ぶことの大切さや有効性に気づく子が現れ、その輪が少しでも広がればと思っています。

冒頭に書いた私の体験のような場面が少なくなることで、学習も含め様々な場面で、「自ら考え、自ら判断し、自ら行動する」、そんな子どもを育てられたらということを心から願っています。